

神奈川県鉄道輸送力増強促進会議 令和5年度 要望・回答

東日本旅客鉄道 南武線・鶴見線

番号	要望事項	要望内容	回答
I 輸送力増強			
1 輸送計画の改善			
(1)	南武線の増発、車両の増結	南武線については、沿線全体の鉄道利用者は年々増加傾向にあります。また、南武線は川崎市を縦貫し、川崎市民にとって最も重要な交通機関でありますので、①ピーク時やピークサイドの増発(オフピーク通勤の取組みと連携して車内混雑の平準化を図る)②車両の増結(長編成化)について、利用状況などを踏まえ、利用者の利便性の向上と輸送力増強に向けた取組みを引き続き推進されますよう要望いたします。	① 今後もお客さまのご利用状況を見極めつつ判断してまいります。 ② 車両の増結(長編成化)については、ホームの前後に踏切道のある駅が多いことや車両基地の拡張など、川崎～立川間の全線にわたり設備の大幅な改修が必要となるため、現時点で実施についての計画はございません。また、輸送力増強につきましては、2017年3月に全ての編成で幅の広い新型車両への置き換えが完了いたしました。 引き続きお客さまのご利用状況を見極めつつ判断してまいります。
(2)	南武支線の増発	南武支線沿線や臨海部におきましては、新たな企業立地等が進んでいること、南渡田地区における新たな拠点形成の取組みも進められていることから、多くの住民や通勤・通学者等にとって、引き続き重要な交通機関となっています。 こうした中、川崎市におきましては平成30年3月に「臨海部ビジョン」を策定し、沿線における新産業創出拠点の形成や交通機能の強化に向けた取組みを進めているところです。 平成28年3月のダイヤ改正で貴社のご尽力により、川崎新町～浜川崎間の小田栄駅開業にあわせ、朝通勤時間帯に上下で3本が増発され、令和5年3月のダイヤ改正では、朝通勤時間帯に小田栄発・尻手行が1本増発されましたが、一層の利便性向上に向けて、運行本数について、更なる増発を要望いたします。	南武支線については、2016年3月のダイヤ改正で、川崎新町～浜川崎間の小田栄駅開業に合わせ、朝通勤時間帯に上下で3本増発を行いました。また、2020年3月のダイヤ改正では、下り始発列車の繰り上げ(小田栄発・尻手行)を行い、2023年3月のダイヤ改正では朝通勤時間帯に小田栄発・尻手行を1本増発し利便性の向上を図りました。これ以上の増発となりますと新たな車両の増備に加え、車両留置箇所や乗務員の確保など課題が多いため、現時点ですぐに実施することは困難な状況です。 今後も沿線や臨海部の発展などによるお客さまのご利用状況の変化を見極めつつ検討してまいります。
(3)	鶴見線のダイヤ改善等	鶴見線は、沿線の通勤・通学者や住民などが臨海部地域へ向かう大切な交通手段であり、横浜市では、平成30年3月に改訂した「京浜臨海部再編整備マスタープラン」において、朝夕時間帯における輸送力の確保に加え、需要創出の取組みと連動した昼間時間帯のサービス水準の充実など、快適で利便性の高い鉄道路線となるよう鉄道事業者と連携して取り組んでいくこととしています。また、川崎市におきましては、平成30年3月に策定した「臨海部ビジョン」に基づき、浜川崎駅周辺に位置する南渡田地区における新産業創出拠点の形成や、臨海部の発展を支える交通機能の強化に向けた取組みを進めているところです。 京浜臨海部においては工場が多数立地しているとともに、学校や病院等も立地しており、通勤・通学者や沿線施設利用者にとって大切な交通手段となっています。 つきましては、一層の輸送力強化と利便性向上に向けて、通勤・通学時の増便や編成両数の増加及びそれに伴う駅ホームの延長等を要望いたします。 特に、鶴見小野駅を最寄駅とする「横浜市医師会聖灯看護専門学校(総定員520名)」の昼間定時制の学生の登校時間及び教職員の出張等に当たる時間帯の利便性向上のため、12時台、13時台の増便についても要望いたします。	鶴見線は、沿線に企業や工場が多く立地している環境であり、周辺企業等への通勤のお客さまが多いことから、朝夕の通勤輸送を主眼とした輸送体系としております。2018年3月のダイヤ改正では、開校する専門学校の下校時間に合わせ、弁天橋～鶴見間に1往復の増発の他、沿線企業の定時退社日に合わせ、弁天橋～鶴見間で臨時列車を運行し、混雑緩和を図ってまいりました。 2019年3月のダイヤ改正では、ご利用実態に合わせ朝夕の通勤時間帯の運行体系の見直しを行いました。2020年3月改正においても16時台～17時台に電車を増発するなど、運行体系の更なる見直しを行い、混雑緩和を図りました。一方で朝夕の通勤時間帯以外の電車については、鶴見駅～弁天橋駅間を除きご利用が極めて低い状況であります。鶴見線のご利用状況は、沿線に立地している企業等の動向に大きく影響されることもあり、引き続きご利用状況を見据えつつ輸送体系を見直してまいります。また、車両の増結(長編成化)・ホームの延長等については、ホームの前後に踏切道のある駅が多いことや車両基地の拡張など、全線にわたり設備の大幅な改修が必要となるため、現時点で実施についての計画はございませんが、今後も沿線や臨海部の発展などによるお客さまのご利用状況の変化を見極めつつ検討してまいります。

番号	要望事項	要望内容	回答
(4)	南武支線の川崎駅への乗入れ	南武支線の川崎駅への乗入れは、川崎市の交通体系や今後の臨海部の持続的な発展に向けて重要な計画であり、平成28年4月には、交通政策審議会答申「東京圏における今後の都市鉄道のあり方」において、地域の成長に応じた鉄道ネットワークの充実に資するプロジェクトに、東海道貨物支線の貨客併用化とともに、川崎アプローチ線として位置付けられています。 こうした中、川崎市におきましては平成30年3月に「臨海部ビジョン」を策定し、沿線における新産業創出拠点の形成や交通機能の強化に向けた取組みを進めているところです。 つきましては、臨海部への交通アクセスの向上に向けて、南武支線の川崎駅への乗入れを要望いたします。	南武支線の川崎乗入れは、新規の大規模な設備投資を要する他、南武線(川崎～立川間)の列車の運行に多大な影響が出ること、及び需要見込み等が不透明であることから現時点では計画はございませんが、関係自治体の沿線の整備計画と連携し、検討を進めてまいりたいと考えております。
II 利便性向上			
1 駅施設等の整備			
(1)	武蔵中原駅の混雑対策	ラッシュ時の改札口は、改札口へ向かう利用者や、改札口を出て連絡歩道橋へ向かう利用者が交錯し、混雑している状況です。 つきましては、ラッシュ時の改札口付近の歩行者動線が交錯しないよう、適切な混雑対策に取り組まれるよう要望いたします。	武蔵中原駅構内の混雑解消につきましては、今後継続してお客さまの流動把握に努めながら、改善の必要性について検討してまいります。また、改札ラチ外の歩行者の流動につきましては、関係自治体等ともご相談しながら改善に努めてまいりたいと考えております。
(2)	武蔵溝ノ口駅における安全性の確保	武蔵溝ノ口駅は、コンコースから上りホームまでの通路及び階段の幅員が狭く、朝のラッシュ時には階段を昇降する乗客で著しく混雑している状況となっています。 貴社のご尽力により、平成16年7月より上りホームが延伸され、このような状況が一部緩和されましたが、引き続き利用者の安全性確保と移動の利便性向上のため、上りホームの階段拡幅等の安全対策を実施されるよう要望いたします。	武蔵溝ノ口駅は、2004年7月に川崎方の上りホームを延伸したことで川崎方階段の利用者が増加し、立川方階段付近の旅客流動がスムーズになり、全体的な混雑緩和が図られました。引き続きお客さまのご利用状況を把握しながら、駅の改善に努めてまいります。
(3)	津田山駅ホームの屋根の増設等	津田山駅は自由通路・橋上駅舎化整備にあわせて、ホームの屋根を増設していますが、武蔵溝ノ口駅方のホームには屋根がなく、雨天時の乗降において足元が滑りやすい状況であり、利用者は不便を感じています。ホーム全体を覆うように屋根を増設されるよう要望いたします。	津田山駅については、関係自治体のご協力をいただき駅改良(自由通路・橋上駅舎化)が完了しました。駅改良により、ホーム上家については、3.5両分となっております。現時点では増設を実施する計画はございませんが、お客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。
(4)	老朽駅舎等の改良	バリアフリー化や自由通路橋上駅舎化等の施設改善に合わせ老朽施設の更新等を進めていただいておりますが、その他の駅においても、老朽施設の更新や利用者の利便性向上の観点から、駅舎、ホーム、跨線橋、トイレ等の駅施設の改良を早急に実施されるよう要望いたします。	南武線の駅施設については、バリアフリー化の施策にあわせ自由通路橋上化計画を推進しており、津田山駅は事業が完了、稲田堤駅は現在施工中です。 現在、関係自治体にご協力を頂きながら中野島駅・久地駅について検討を進めております。引き続きご協力をお願いいたします。
(5)	改札口の新設	南武線については、改札口が片側にしかない駅がありますが、利用者は駅の付近にある踏切や歩道橋を横断しなくてはならず、大変不便でかつ著しく混雑している状況となっているため、両側に改札を設置していただくよう要望いたします。 また、向河原駅のように利用者や時間を制限する改札においては、制限の緩和を検討していただくよう要望いたします。 南武線駅アクセス向上策案の対象駅である久地駅南側、宿河原駅北側についても、橋上駅舎が整備されるまでの間、中野島駅と同様に改札口を新設されるよう要望いたします。 なお、矢向駅についても、連続立体交差が実現するまでの間の対策を検討していただくよう要望いたします。	南武線駅の改札口の新設については、現時点で実施する計画はございませんが、今後のお客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。 また、向河原駅西側の改札については、NEC専用として設けており、利用者や時間帯の制限を緩和する計画はございません。 南武線駅アクセス向上策案の対象3駅については、自由通路橋上化計画を早期に推進していただきますようお願いいたします。また、矢向駅につきましては、関係自治体と連携し、お客さまのご利用状況に応じて検討してまいります。

番号	要望事項	要望内容	回答
(6)	中野島駅ホームの改良	中野島駅は乗降客数が近年増加傾向にあります。ホームが大変狭く、混雑時には大勢の人であふれて著しく混雑している状況となっています。 つきましては、利用者の安全確保の観点から、改札口付近の滞留スペースや下りホームの一部を拡幅されるよう要望いたします。	ホーム幅員等の拡幅については、駅構内全体に係わる大規模な改良工事が必要です。お客さまの動向や駅周辺の開発構想、ホーム上の混雑状況を見極めつつ、関係自治体と連携しながら長期的に検討する必要があると考えております。
(7)	稲田堤駅の改札機の増設	JR稲田堤駅について、現在、令和6年度の完成を目指し自由通路橋上駅舎等の整備を進めていただいておりますが、橋上駅舎完成時に朝夕のピーク時間帯に駅構内への出入りがスムーズとなるように改札機の増設を要望いたします。	現時点では改札機のレイアウト変更の計画はありませんが、引き続きお客さまの流動状況を注視してまいります。
(8)	八丁畷駅のエレベーター等の設置	JR八丁畷駅において、西口側改札からは車いす利用者はホームに行けないため、ホームに行けるエレベーターを設置していただきますよう要望いたします。	八丁畷駅は東口改札側にバリアフリールートを整備しているため、ご不便をおかけいたしますが、エレベーターが設置されている東口改札をご利用いただきますようお願いいたします。
番号	要望事項	要望内容	回答
Ⅲ その他			
(1)	無人駅での障害者等への対応	無人駅においても、障害者等の方々を含む全ての駅の利用者が、安全、円滑に駅を利用できるよう、国が策定した「駅の無人化に伴う安全・円滑な駅利用に関するガイドライン」に沿った対応等について、ご検討いただきますよう要望いたします。	鉄道サービスは公共性の高い交通機関であり、多様なお客さまが安全、円滑に駅を利用できるよう必要な設備や体制の整備等に努めてきたところであります。引き続き、関係者の皆様と検討してまいります。